



NPO法人

染色体・遺伝コンサルジュ

患者様説明用

<http://www.zb.em-net.ne.jp/~chromosome/>

NPO法人染色体・遺伝コンサルジュの解析支援事業

NPO法人染色体・遺伝コンサルジュの解析支援事業の一環としてアレイCGH受託解析を行います。営利が目的ではなく、本来この技術が必要とする患者様にお役に立つことで社会に貢献することを目的としています。

アレイCGH受託解析について

アレイCGHは通常の染色体解析が顕微鏡下に展開した標本を光学的に解析するのに対して、色素の定量比較をデジタルデータ化して解析する画期的なデジタル染色体解析です。通常の染色体検査ではわからないような微細な異常が約10-20%で検出できます。

アレイCGH受託解析では、単に結果をご返却するだけでなく、お忙しい臨床医の先生方のために専門的な立場から注釈を加え、FISH法による確定診断から患者様への説明方法までお手伝いします。

アレイCGH受託解析の内容について

解析は東京女子医科大学で研究として行われ、得られたデータからデジタル染色体解析としての最終核型をNPO法人「染色体・遺伝コンサルジュ」が解釈し、注釈付きレポートをお返し致します。臨床検査ではなく、あくまでも研究です。アレイのプラットフォームにより、ある程度のサンプル数がまとまってから解析を開始しますので、1-3ヶ月程度かかる場合がありますが、必ず結果はお返しします。引き続きFISHによる確認が必要である場合、保因者診断が必要である場合などは、状況に応じて次の検査についてアドバイスさせていただきます。

*ご希望の場合には、生のアレイデータをCDなどでお送りします。別途送料をお願いします。

対象

何らかの染色体異常が疑われるにも関わらず、通常のG-bandで異常がない場合のスクリーニング
通常の染色体検査ですでに欠失や転座異常がわかっているが、欠失範囲などを正確に調べたい場合
マーカー染色体の由来が不明の場合
30%以上のモザイク頻度の転座など

(除外規定)基本的に研究として行われますので、以下の場合はお引き受けできません。

アレイCGHでは転座などの構造異常は判別できませんので、必ずG-bandによる染色体解析を先に行っていただくようお願いしています。

インフォームドコンセントが取れていない患者サンプル
研究結果を成果として学会発表・論文発表することが許されない場合
研究結果を東京女子医科大学と共有して共同発表することをお許しいただけない場合
解析後のサンプルを東京女子医科大学に研究用として供与できない場合
ヒト以外のサンプル

費用

解析手数料として1検体10万円でお引き受け致します(基本的に4x44アレイを使用)。費用は受益者負担として患者様ご家族にご負担していただくか、研究として研究者側が科研費等でお支払いしていただくか、どちらでも結構です。ただし、右の場合には費用に関して相談させていただく場合がありますので、あらかじめメールにてご相談下さい。

東京女子医科大学での研究テーマに合致しない場合
さらに高解像度のオリゴアレイでの解析を希望される場合
注釈レポートが不要で、生データのみを希望される場合
血液以外のサンプルを対象とする場合
その他

お申し込み方法・手順

1. お申し込みは正会員の方からのみお受け致します。
(アレイCGH解析は採血を伴いますので、医師のみお申し込み可能です。一般の方はお申し込みできません。)
2. 解析ご希望の内容についてあらかじめ電子メール(npo_chromosome@yahoo.co.jp)で確認させていただきます。
(解析内容と費用、検体授受の方法などについて、あらかじめメールにてご相談させていただきます。)
3. 同意書の書式を送付致しますと同時に、ランダムに付与されたID番号をお知らせしますので、銀行にて患者様のお名前、あるいは付与されたID番号を入力して費用をお振込み下さい。(個人情報保護の観点からID番号による振込みをお勧めしております。ID番号を正しく入力いただけないと入金の確認できない場合がありますので、ご注意下さい。費用の振込みは患者様ご自身がされても正会員の先生がなさってもどちらでも結構です。)
4. 入金後検体を送付下さい。

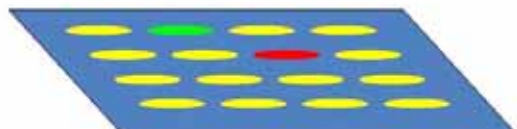
アレイCGH解析とFISH法による染色体異常確認の具体例

CGHの原理

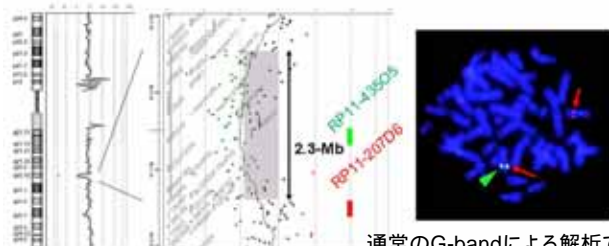
患者様の検体(赤)とコントロール(緑)を別々の蛍光色素でラベルしてアレイ(スライド)にハイブリさせます。



染色体欠失(モノソミー)があれば赤が減り、緑に傾きます。異常がなければ黄色になります。
染色体重複(トリソミー)があれば赤が増えて赤に傾きます。



これをスキャンしてコンピューターで解析します。



通常のG-bandによる解析ではわからなかった微細な異常が認められました。

注意事項

- 解析は研究として行われます。
- 結果を解釈してご依頼の先生にご返却します。
- 最終的な判断は主治医の先生にご相談下さい。
(当方にお問い合わせいただいてもお答えできません。)

【特定非営利活動法人 染色体・遺伝コンサルジュ事務局】

〒162-8666
東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学
国際統合医科学インスティテュート(IREIIMS)
山本俊至
npo_chromosome@yahoo.co.jp

詳細はwebでご確認下さい。 <http://www.zb.em-net.ne.jp/~chromosome/>